



# こきぬ

つくばみらい市立小絹中学校

生徒数 236名

学級数 10学級

## よりよい小絹中学校をめざして挑戦を

校長 栗原 繁則



校長室に、28年前に創られた校章が飾られています。その年その年で、生徒会役員を中心とした生徒の3年間があったことでしょう。

先日、新生徒会役員の選挙がありました。しっかりした考えをもち、よりよい小絹中を創ろうという熱意を感じました。これまで3年生がコロナ禍で、自分たちにできることを模索してきた土台の上に、1・2年生が続いてくれているのが分かりました。役員に立候補した生徒の皆さんの勇気に、拍手を送りたいと思います。

新生徒会役員の皆さんは、何か一つでも挑戦をして、よりよい小絹中学校を創ってください。

それには、役員以外の生徒の皆さんの協力も必要です。教職員もみなさんを応援しています。来年も、よりよい小絹中学校をつくっていきましょう。



### 仲良く こだわって～ 新生徒会役員へのエール～

「発言することが大切。先輩の前で言いづらいかもしれないけれど、発言しないと始まらない。生徒会の話合いの質を高めてほしい。」

「学校の中心である生徒会の仲間の仲がいいことが大切だと思う。どんな意見も大切に、こだわりをもって。」

12月22日（水）午後4時。校長室に集まった新生徒会役員。現在の生徒会長と副会長が思いを語りました。

「いただいた言葉を胸に、新メンバーで仲良く、たくさんの意見を交わしてぶつかったりまとまったりしながら、話合いにこだわってがんばっていきます！」

と新生徒会長。

（本校ホームページより）

## 小絹中アルバム



悩んだときは口に出そう  
～道徳「SOSの出し方」について～



たすきを繋いでゴールへ  
～保健体育「ミニ駅伝」～



マイレシピを使って  
～技術・家庭「お菓子づくり」～

# 全国学力・学習状況調査の結果から見た小絹中生の姿

生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等を目的に、毎年4月、3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われています。

本年度の結果から、小絹中学校の生徒の姿が見えてきました。

今後、本校の生徒の強みを伸ばし、課題を解決するため、教育活動の中で対策をしていきます。

## 1 学力について

### (1) 強み

[国語]

- ・ 文学的な文章について、文章中から抜き出して答えること。
- ・ 漢字の読み書き

[数学]

- ・ 与えられたデータから必要な情報を読み取ること。

### (2) 課題となること

[国語]

- ・ 意見文について、根拠と具体例の違いを見分け、段落の構成を理解すること
- ・ 複数の条件に合わせた文を書いたり、文を引用したり、相手の意見を受けたりして、自分の考えをまとめること。

[数学]

- ・ 式、表、グラフを関連付けて考えること

## 2 学習状況

( ) 内は全国比

### (1) 強み

- ・ 道徳で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりしている。 (+11.1%)
- ・ 自分の考えがうまく伝わるように、工夫して発表している。 (+9.3%)
- ・ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 (+8.3%)



### (2) 課題となること

- ・ 学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会 (-14.8%)
- ・ 学校の授業以外の、平日の勉強時間 [2, 3時間学習する生徒の割合] (-10%)
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えること (-6.6%)



日々の生徒の様子や、学校からのお知らせなどをホームページに掲載しています。右のQRコードを読み取って、スマートフォンやタブレットからご覧いただけます。

小絹中イメージキャラクター「来夢」

